

【検証】「神の御使い」「主の御使い」の表記について

イエス・キリストは、この地上で受肉する前に、神秘的なお方、すなわち「神の御使い」「主の御使い」として聖書（旧約聖書）に登場しています（別紙参照）。

また、「御使い」（旧約聖書のみ 102 聖句登場）、「天使」（旧約聖書では「ダニエル書」のみ 9 聖句、新約聖書では 196 聖句に登場）という言葉は、「メッセンジャー」という意味です。

今回、「新共同訳聖書」「King James Version」「New King James Version」を使用し、聖書に登場する「神の御使い」「主の御使い」に絞込み、検証を行いました。

▶神の御使い

通常表記

King James Version the angel of God

New King James Version the angel of God

別の表記

歴代誌下 36 : 16

King James Version the messengers of God ⇒神の御使いたち

New King James Version the messengers of God ⇒神の御使いたち

▶主の御使い

通常表記

King James Version the angel of the LORD

New King James Version the Angel of the LORD

別の表記

士師記 2 : 1

King James Version an angel of the LORD

New King James Version the Angel of the LORD

士師記 5 : 23 / 列王記下 1 : 3、15、19 : 35 / 歴代誌上 21 : 12 / イザヤ 37 : 36

King James Version the angel of the LORD

New King James Version the angel(or Angel) of the LORD

士師記 6 : 11、22、13 : 16

King James Version an angel of the LORD

New King James Version the Angel of the LORD

歴代誌上 21 : 15、16、18、30

King James Version the angel of the LORD

New King James Version the angel of the LORD

ゼカリヤ書 3 : 2

King James Version the LORD (the angel の表記はない)

New King James Version the LORD (the angel の表記はない)

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：神の御使い]</p> <p>章:節 聖句 [検索対象総数：6 / 聖句等の総数 33250 <神の御使い>6個]</p>
K 創世記	21:17 神は子供の泣き声を聞かれ、天から神の御使いがハガルに呼びかけて言った。「ハガルよ、どうしたのか。恐れることはない。神はあそこにいる子供の泣き声を聞かれた。
K 創世記	31:11 そのとき、夢の中で神の御使いが、『ヤコブよ』と言われたので、『はい』と答えると、
K 出エジプト記	14:19 イスラエルの部隊に先立って進んでいた神の御使いは、移動して彼らの後ろを歩き、彼らの前にあった雲の柱も移動して後ろに立ち、
K 士師記	6:20 神の御使いは、「肉とパンを取ってこの岩の上に置き、肉汁を注ぎなさい」と言った。ギデオンはそのとおりにした。
K 士師記	13:9 神はマノアの声をお聞き入れになり、神の御使いが、再びその妻のところに現れた。彼女は畑に座っていて、夫マノアは一緒にいなかった。
K 歴代誌下	36:16 彼らは神の御使いを嘲笑い、その言葉を蔑み、預言者を愚弄した。それゆえ、ついにその民に向かって主の怒りが燃え上がり、もはや手の施しようがなくなった。

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 主の御使い]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数 : 50 / 聖句等の総数 33250 (主の御使い)54個]
K 創世記	16:7 主の御使いが荒れ野の泉のほとり、シュル街道に沿う泉のほとりで彼女と出会って、
K 創世記	16:9 主の御使いは言った。「女主人のもとに帰り、従順に仕えなさい。」
K 創世記	16:10 主の御使いは更に言った。「わたしは、あなたの子孫を数えきれないほど多く増やす。」
K 創世記	16:11 主の御使いはまた言った。「今、あなたは身ごもっている。やがてあなたは男の子を産む。その子をイシュマエルと名付けなさい／主があなたの悩みをお聞きになられたから。」
K 創世記	22:11 そのとき、天から主の御使いが、「アブラハム、アブラハム」と呼びかけた。彼が、「はい」と答えると、
K 創世記	22:15 主の御使いは、再び天からアブラハムに呼びかけた。
K 出エジプト記	3:2 そのとき、柴の間に燃え上がっている炎の中に主の御使いが現れた。彼が見ると、見よ、柴は火に燃えているのに、柴は燃え尽きない。
K 民数記	22:22 ところが、彼が出発すると、神の怒りが燃え上がった。主の御使いは彼を妨げる者となって、道に立ちふさがった。バラムはろばに乗り、二人の若者を従えていた。
K 民数記	22:23 主の御使いが抜き身の剣を手にして道に立ちふさがっているのを見たらばは、道をそれで畑に踏み込んだ。バラムはろばを打って、道に戻そうとした。
K 民数記	22:24 主の御使いは、ぶどう畑の間の狭い道に立っていた。道の両側には石垣があった。
K 民数記	22:25 ろばは主の御使いを見て、石垣に体を押しつけ、バラムの足も石垣に押しつけたので、バラムはまた、ろばを打った。
K 民数記	22:26 主の御使いは更に進んで来て、右にも左にもそれる余地のない狭い場所に立ちふさがった。
K 民数記	22:27 ろばは主の御使いを見て、バラムを乗せたままうずくまってしまった。バラムは怒りを燃え上がらせ、ろばを杖で打った。
K 民数記	22:31 主はこのとき、バラムの目を開かれた。彼は、主の御使いが抜き身の剣を手にして、道に立ちふさがっているのを見た。彼は身をかがめてひれ伏した。
K 民数記	22:32 主の御使いは言った。「なぜ、このろばを三度も打ったのか。見よ、あなたはわたしに向かって道を進み、危険だったから、わたしは妨げる者として出て来たのだ。」
K 民数記	22:34 バラムは主の御使いに言った。「わたしの間違いでした。あなたがわたしの行く手に立ちふさがっておられるのをわたしは知らなかったのです。もしも、意に反するのでしたら、わたしは引き返します。」
K 民数記	22:35 主の御使いはバラムに言った。「この人たちと共に行きなさい。しかし、ただわたしがあなたに告げることをだけ告げなさい。」バラムはバラクの長たちと共にいった。
K 士師記	2:1 主の御使いが、ギルガルからボキムに上って来て言った。「わたしはあなたたちをエジプトから導き上り、あなたたちの先祖に与えると誓った土地に入らせ、こう告げた。わたしはあなたたちと交わしたわたしの契約を、決して破棄しない、
K 士師記	2:4 主の御使いがすべてのイスラエルの人々にこれらのことを告げると、民は声をあげて泣いた。
K 士師記	5:23 主の御使いは言った。「メロズを呪え、その住民を激しく呪え。彼らは主を助けに来なかった。勇士と共に主を助けに来なかった。」
K 士師記	6:11 さて、主の御使いが来て、オフラにあるテレビンの木の下に座った。これはアビエゼルの人ヨアシュのものであった。その子ゲデオンは、ミディアン人に奪われるのを免れるため、酒ぶねの中で小麦を打っていた。

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：主の御使い]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数：50 / 聖句等の総数 33250 (主の御使い)54個]
K 士師記	6:12 主の御使いは彼に現れて言った。「勇者よ、主はあなたと共におられます。」
K 士師記	6:21 主の御使いは、手にしていた杖の先を差し伸べ、肉とパンに触れた。すると、岩から火が燃え上がり、肉とパンを焼き尽くした。主の御使いは消えていた。
K 士師記	6:22 ギデオンは、この方が主の御使いであることを悟った。ギデオンは言った。「ああ、主なる神よ。わたしは、なんと顔と顔を合わせて主の御使いを見てしまいました。」
K 士師記	13:3 主の御使いが彼女に現れて言った。「あなたは不妊の女で、子を産んだことがない。だが、身ごもって男の子を産むであろう。」
K 士師記	13:13 主の御使いはマノアに答えた。「わたしがこの女に言ったことをすべて守りなさい。」
K 士師記	13:15 マノアは主の御使いに言った。「あなたをお引き止めしてもよいでしょうか。子山羊をごちそうさせていただきます。」
K 士師記	13:16 主の御使いはマノアに答えた。「あなたが引き止めても、わたしはあなたの食べ物を食べない。もし焼き尽くす献げ物をささげたいなら、主にささげなさい。」マノアは、その人が主の御使いであることを知らなかった。
K 士師記	13:17 そこでマノアは主の御使いに、「お名前は何とおっしゃいますか。お言葉のとおりになりましたなら、あなたをおもてなししたいのです」と言った。
K 士師記	13:18 主の御使いは、「なぜわたしの名を尋ねるのか。それは不思議と言う」と答えた。
K 士師記	13:20 すると、祭壇から炎が天に上るとき、主の御使いも、その祭壇の炎と共に上って行った。マノアとその妻はそれを見て、ひれ伏して顔を地につけた。
K 士師記	13:21 主の御使いは再びマノアとその妻に現れることがなかった。マノアはそのとき、この方が主の御使いであったことを知った。
K サムエル記下	24:16 御使いはその手をエルサレムに伸ばして、これを滅ぼそうとしたが、主はこの災いを思い返され、民を滅ぼそうとする御使いに言われた。「もう十分だ。その手を下ろせ。」主の御使いはエブス人アラウナの麦打ち場の傍らにいた。
K 列王記上	19:7 主の御使いはもう一度戻って来てエリヤに触れ、「起きて食べよ。この旅は長く、あなたには耐え難いからだ」と言った。
K 列王記下	1:3 一方、主の御使いはティシュベ人エリヤにこう告げた。「立て、上って行ってサマリアの王の使者に会って言え。『あなたたちはエクロンの神バル・ゼブブに尋ねようとして出かけているが、イスラエルには神がないとでも言うのか。』」
K 列王記下	1:15 主の御使いがエリヤに、「彼と共に降りて行け。彼を恐れるには及ばない」と告げたので、エリヤは立ち上がって彼と共に王のところに降りて行って、
K 列王記下	19:35 その夜、主の御使いが現れ、アッシリアの陣営で十八万五千人を撃った。朝早く起きてみると、彼らは皆死体となっていた。
K 歴代誌上	21:12 三年間の飢饉か、三か月間敵に蹂躪され、仇の剣に攻められることか、三日間この国に主の剣、疫病が起これ、主の御使いによってイスラエル全土に破滅がもたらされることか。』わたしを遣わされた方にどうお答えすべきか、決めてください。」
K 歴代誌上	21:15 神は御使いをエルサレムに遣わし、これを滅ぼしてしまおうとされたが、御使いが滅ぼそうとするのを主は御覧になり、この災いを思い返され、滅ぼそうとする御使いに言われた。「もう十分だ。その手を下ろせ。」主の御使いはエブス人オルナンの麦打ち場に立っていた。
K 歴代誌上	21:16 ダビデが目凝らすと主の御使いが地と天の間に立ち、剣を抜いて手に持ち、エルサレムに向けているのが見えた。粗布に身を包んでいたダビデと長老たちは地に顔をつけて伏した。
K 歴代誌上	21:18 主の御使いは、ダビデにこう伝えるようガドに言った。「ダビデはエブス人オルナンの麦打ち場の上り、主のための祭壇を築かなければならない。」
K 歴代誌上	21:30 ダビデは主の御使いの剣を恐れ、神を求めてその御前に行くことができなかった。

	タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：主の御使い]</p> <p>章:節 聖句 [検索対象総数：50 / 聖句等の総数 33250 (主の御使い)54個]</p>
K	イザヤ書	37:36 主の御使いが現れ、アッシリアの陣営で十八万五千人を撃った。朝早く起きてみると、彼らは皆死体となっていた。
K	ゼカリヤ書	1:11 彼らはミルトスの林の中に立っている主の御使いに向かって答えた。『わたしたちは地上を巡回して来ました。地上の人々はすべて安らかに暮らしています。』
K	ゼカリヤ書	1:12 それに答えて、主の御使いは言った。『万軍の主よ、いつまでエルサレムとユダの町々を憐れんでくださらないのですか。あなたの怒りは七十年も続いています。』
K	ゼカリヤ書	3:1 主は、主の御使いの前に立つ大祭司ヨシュアと、その右に立って彼を訴えようとしているサタンをわたしに示された。
K	ゼカリヤ書	3:2 主の御使いはサタンに言った。「サタンよ、主はお前を責められる。エルサレムを選ばれた主はお前を責められる。ここにあるのは火の中から取り出された燃えさしではないか。」
K	ゼカリヤ書	3:5 また、御使いは言った。「この人の頭に清いかぶり物をかぶせなさい。」彼らはヨシュアの頭に清いかぶり物をかぶせ、晴れ着を着せた。主の御使いは立ち続けていた。
K	ゼカリヤ書	3:6 主の御使いはヨシュアに証言して言った。
K	ゼカリヤ書	12:8 その日、主はエルサレムの住民のために盾となられる。その日、彼らの中で最も弱い者もダビデのようになり、ダビデの家は彼らにとって神のように、彼らに先立つ主の御使いのようになる。